

-(으)ㄹ 만치

~するほど

程度を示す만큼 の古風な形です。意味はほぼ同じで、文語的な響きになります。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄹ 만치	놀라다 → 놀랄 만치
パッチムあり	-을 만치	있다 → 있을 만치
過去	-(으)ㄴ 만치	노력한 만치
名詞	만치	너만치
近い形	-(으)ㄹ 만큼	より一般的
分かち書き	만치 は依存名詞	놀랄 만치

■ -(으)ㄹ 만큼 とどう違うか

程度を示します。놀랄 만치 빠르게 변했다 (驚くほど速く変わった)。

만큼 とほぼ同じで入れ替えられます。違いは文体だけで、만치 のほうが古風で方言的な響きがあります。現代の標準語では만큼 が優勢です。

分かち書きの規則も同じです。動詞につくときは離し (놀랄 만치)、名詞につくときは続けます (너만치)。

文学作品や年配の話者の言葉で見かける形です。

■ 例文

- 1

방 안은 숨소리가 들릴 만치 조용했다.
部屋の中は息の音が聞こえるほど静かでした。
- 2

노력한 만치 결과가 따라오기 마련이다.
努力しただけ結果はついてくるものです。
- 3

눈이 부실 만치 하얀 벽이었다.
まぶしいほど白い壁でした。
- 4

그를 믿을 만치 오래 알고 지냈다.
彼を信じられるほど長く付き合いしてきました。
- 5

손수 만들 만치 정성을 들였다.
手ずから作るほど真心を込めました。
- 6

아무도 너만치 잘하지는 못한다.
誰も君ほどうまくはできません。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄹ 만큼

ほぼ同じ意味で、現代の標準語ではこちらが優勢です。

놀랄 만큼 (一般) / 놀랄 만치 (古風)

-(으)ㄹ 정도로

程度を示します。만치 より客観的な響きです。

놀랄 정도로 (客観) / 놀랄 만치 (文語)

-도록

程度の限界を示します。「~するほど」に当たります。

목이 쉬도록 (限界)

■ まちがえやすい点

- ✕ 놀랄만치

○ 놀랄 만치

依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 너 만치

○ 너만치

名詞につくときは続けて書きます。
- ✕ 친구야, 놀랄 만치 빨라.

○ 친구야, 놀랄 만큼 빨라.

現代語では만큼 が自然です。